

黒潮

平成19年10月発行

第101号

和歌山県看護協会会報



総本山 金剛峯寺

写真提供 広報委員 八幡春美

CONTENTS

- 地区支部だより2~3
- ふれあい看護体験4~5
- トピックス20076~7
- 保健師のコーナー8
- 助産師のコーナー8
- 看護師のコーナー8
- 看護協会委員会のコーナー9
- リレーエッセイ10
- 私の〇〇10
- My Hospital11
- 和歌山県看護協会の動き12
- 会員の皆さまへのお知らせ12

会員総数 5,712名
名誉会員 1名
保健師 172名
助産師 181名
看護師 4,515名
准看護師 843名
平成19年10月1日現在

地区支部だより

伊都地区支部

支部長 西山 登志子

平成19年度伊都地区支部通常総会を、7月7日に開催しました。総会後の研修会においては、笑いは「自然治癒力を高め、心と体を元気にする」効果に着目し、テーマ「一日一笑 ～笑う門には福きたり～」を称して落語家・桂こごろうさんを招いて研修会を開催しました。

「人間関係が円滑になり」、「緊張を緩和してリラックスさせる」笑いの効用が終了後の会員の表情に現れていました。



那賀地区支部

支部長 田伏 富紀

昨年6月から那賀地区支部長の役を受けさせていただき、2年目となりました。会員の方々のご協力、ご指導をいただきながら、地区支部活動を今年度も精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

また、6月31日（土）に那賀地区支部総会及び研修会が岩出市総合保健福祉センターにおいて開催され、出席者83名の多数の参加がありました。

また、その後の研修会では、「救急看護について」救急看護認定看護師の岩井真弓先生を講師に迎えて、救急時の対応について具体的に学ぶことができ、大変好評でした。



和歌山地区支部

支部長 芝田 里花

支部総会・第1回研修会を7月7日（土）に開催し、248人の出席を得ることができました。研修会「看護師のためのストレスマネジメント」は実際に自分のストレスの程度を知り、リラクゼーションプログラムを体験することもでき、大変好評でした。

9月には老人月間行事、第2回研修会を開催します。

今後も、皆様方からのご意見、ご協力をいただきながら、充実した活動ができるよう役員一同頑張りますのでよろしくお願いいたします。



海南地区支部

支部長 川崎 貴美子

平成19年6月から海南海草地区支部長をさせていただきます海南保健所の川崎です。

支部総会及び研修会を7月7日（土）に海南市保健福祉センターで開催し、136名の会員の出席がありました。講演「音楽療法～医療現場からの報告～」では、音楽の持つ不思議な力を感じることができ大好評でした。

今後とも、会員の皆様のご協力のもと、充実した支部活動を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



地区支部だより

有田地区支部

支部長 野村 眞佐子

平成19年度地区支部総会と第1回研修会・「嚥下障害」の講義を6月16日に行いました。

8月9日に施設代表者会・支部役員会を行い、施設代表者会の席で、谷会長より新看護研修センター建設について資料に沿って説明がありました。各施設・個人会員の方には、その資料を送らせて頂きました。

今後の予定は、11月3日に老人月間行事を行う予定です。

また、昨年好評でした第2回看護研究発表会を、来年2月16日に行う予定です。



日高地区支部

支部長 田口 佳美

昨年は9名の役員のうち私自身も含め8名が新人という体制で、地区支部長として試行錯誤の1年でした。今年度は2名の役員交代のため、昨年よりはスムーズな地区支部活動を運営できるように頑張りたいと思います。

さて、平成19年度地区支部総会の後、第1回会員研修を開催しました。講師に独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センターのがん性疼痛看護認定看護師である日保ヒサ先生を迎え、「がん性疼痛を有する患者家族への看護～がん性疼痛看護認定看護師としての活動の実際～」というテーマで講演して頂きました。



田辺地区支部

支部長 河野 佐和子

支部長という大役を仰せつかって2年目に入り、協会本部の事業の経過や、組織という中での事業運営など少しは把握できるようになりました。

支部としても去る6月16日に地区支部総会が終わり、第1回目の学習会を日本赤十字社和歌山医療センターの副看護部長・高岸 寿美先生をお迎えし「災害看護について」講演して頂きました。神戸や新潟など日本において震災はもうどこで起こってもおかしくない。そんな時がきた。実際体験されたことやこれからの我々の役割など熱く講演していただき、大変好評でこれからの教訓につながっていくことと思います。又第2回目の学習会は11月17日（土）聖マリアンナ医科大学病院の看護部長・陣田 泰子先生をお迎えし現場の看護について原点に戻って考えてみようと思っています。そして又11月25日（日）には老人看護月間行事を予定し、地域の方々と触れ合いながら充実した支部活動を行いたいと思っています。

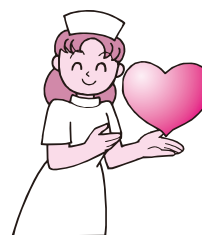
新宮・串本地区支部

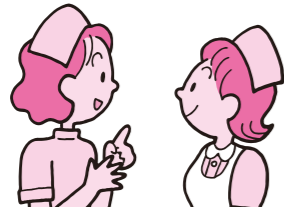
支部長 塩見 和美

第一回研修会の講師に大原義子氏を迎え「看護に求められるビジネスマナーのあり方」と題した講演会を開催しました。

医療現場で遭遇する場面を想定し身体全体で表現する方法を教わりました。少し手を添えて「こちらです。」と言うだけで相手は安心し、気持ちよく応じてくれ、良いコミュニケーションがとれることを改めて感じました。

日本人は自らあまり話さない、訴えない民族であり、表情から何を訴えているか注意深く観察する事の大切さも学びました。





ふれあい看護体験



和歌山労災病院

感想 和歌山北高等学校 出廣 成美

今日の体験は、将来につながるような体験でした。見ているだけでしたが、人の喜びや悲しみが1番伝わるような、そんな仕事場だと思いました。

子供から大人までいろいろな病気を持っているのに対し、優しくしたしみやすい看護師さんが生活面などのおてつだいをしてくれるから、安心して寝にくい夜も寝れてるんだと思いました。

いつでも笑顔でいる看護師さんですけど、疲れているのに顔にもださず、接してくれているのを見て、私も、あいそがいい看護師さんになりたいと思いました。

今までにない体験を17才という年でしてみ、身にしみることもたくさんあったし、患者さんからもらえるなにかもありました。体験だから言えることかもしれませんが、この1日がとても楽しかったです。ありがとうございました。

担当者より

私も高校生の時に看護体験をして、看護師になるきっかけとなりました。夢を諦めず頑張ってください。

川原 理沙

海南市民病院

感想 向陽高等学校 山本 麻貴

まず、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。この体験を通し、看護師または看護をする立場の人の心遣い、そして行動を少し理解できたと思っています。私は、寝たきりの患者さんの体を拭いたり、昼食を各部屋に運ぶ仕事を看護師さんにさせていただきました。それは思ったよりも重労働でした。そして何より、患者さんに対する思いやりを学びました。将来、この体験を生かせるよう、頑張ります。

担当者より

看護は、患者様の療養生活の援助と診療の介助等、人の命を預かり、体力も細かい気配りも必要な仕事です。大変な仕事ではありますが、患者様の「ありがとう」の一言に支えられ、やりがいを感じる事ができる仕事です。ふれあい看護体験をきっかけにぜひ看護職を目指してほしいと思います。

新宮市立医療センター

感想 新宮高等学校 汐見 里奈

今日は、患者さんとお話したり、毛髪を洗わせてもらったりと普段経験できないことを沢山させていただきました。

中でも特に勉強になったことは、私は、患者さんを支えているのはお医者さん、看護師さんと思いついていましたが、他にも



栄養士さん、薬剤師さんなど沢山の人がいることを学んだことです。

笑顔で患者さんに接している看護師さんにますます憧れ、私も頑張って笑顔の絶えない看護師になりたいです。

担当者より

想像されていた以上の学びがあったことを嬉しく思います。今日のことを生かし、夢に向かって進んでください。

副看護部長 坂本 美弥

生協病院

感想 向陽高等学校 岡林 沙波



体験を通して、看護というものがより近く感じることができました。病院にはいろんな患者さんが入院されていて、それぞれの患者さんに合わせて、病院スタッフさんたちが動いているのを見て感動しました。

患者さんのために、そうい

う思いを大切にできるような看護師になりたいと思いました。

担当者より



患者様に笑顔でやさしく声をかけられていたと思います。この体験を忘れず良い看護師になってほしいです。

稲田 静子

社会保険紀南病院

感想 神島高等学校 見森 由季

初めて看護師さんの立場から物事を考えることができました。

見ためは、注射したりなどカッコイイと思われるけど、その裏にはささいな、患者さんへの気遣いや少しの変化でも気付くためによく観察したり、清拭などの仕事まで精神面でも体力面でも大変だと改めて実感



しました。でも、看護師さんがカッコイイ部分も大変な部分もあるけど、やりがいのある仕事やだと言っていたので、またこの仕事にあこがれました。

私も、入院された患者さんがかかえる不安を取りのぞけるような看護師になりたいと思いました。

今日は、いそがしい中ありがとうございました。

担当者より

短時間の看護体験で、様々なことを感じてもらえましたね。一緒に「看護」出来る日を楽しみに待っています。

永井 保都美

橋本市民病院

感想 笠田高等学校 中岡 都紀

～看護体験について～

最初に授乳から見せてもらいました。お母さん達も赤ちゃん達も一生懸命に育つように頑張っていてすごかったです。赤ちゃんをだっこしてみると、すぐにこわれてしまいそうで怖かったです。でも、どの赤ちゃんも重たくて、しっかりと生きていると感じ、ほんの少しだけ命の重みが、わかった気がしました。どの赤ちゃんも可愛かったです。



～介護・看護体験について～
赤ちゃんを洗ったり人の手を洗ったりする時、どんな時も一つの行動に気を付けれ

なければいけないので終わった後に、すごくやり遂げた感じがしました。どの体験も貴重で、とても良い体験が出来た良かったです。看護師の皆さんのように信頼されて、しっかり働けるようになりたいと思いました。

担当者より

自分の年代では職業体験というカリキュラムがなく、事前に見学に行けるというのが、うらやましく思いました。自分も新鮮な気持ちになり、「なぜ看護師になりたいか」など考えているうちに、なってきたと思うことってなんだろう。」等と考えながら、接していました。

目的を持って体験に臨んでこられていたので、興味を持ってもらいやすかったように思いました。他にも看護体験に行っていると聞き、当院の特色をもっと出せたら良かったと思いました。

塩谷 介英

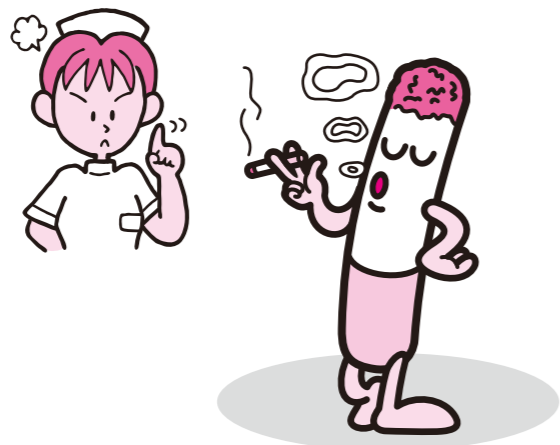
禁煙支援リーダー養成研修

講師 佐本 明 先生

平成18年度の「禁煙支援養成リーダー研修」に引き続き、本年度も講師を担当することになりました佐本です。なぜ講師をということですが、タバコ対策が健康づくりの施策として初めて体系的に取り上げられた「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」が発表された平成12年3月の翌月に県健康対策課に配属され、以降、通算5年間、大人や子どもの健康づくり、とりわけタバコ対策に重点的に携わった関係かと思えます。

お声がかかって、女性の看護師さんの喫煙率等について、日本看護協会の実態調査を読んで驚いたのは、若い世代の喫煙率が高いということより、50、60歳代の喫煙率が、同世代比で言うと約2倍ということでした。医学の勉強もされ、日頃から実際にタバコが関係している病気や喫煙者であるが故に病気や術後の回復が遅くなっている例などに接し、誰よりも肌で感じているはずなのになぜなのか。特定の集団が、明らかに平均値より高い特性を示す場合、そこになんらかの原因があるはずですが、この実態調査報告書からは、それを読み取ることはできませんでしたが、反対に言えば、集団アプローチを適切に行えば、確実に平均、あるいはそれ以下にまで持っていくことは可能だと感じました。

昨年の研修では、研修を機会に禁煙に踏み切られた方もおられました。その体験を語る時、生まれ変わったような生き生きとした表情を今でも忘れることはできません。自らの禁煙体験は、他の禁煙希望者に強い説得力を持ちます。今回もぜひ、多くの喫煙者の参加を期待します。また、禁煙支援に携わろうと思っている方には、効果的な禁煙支援スキルなどもお伝えしたいと思います。禁煙支援が確実に病気のリスクを下げることは当然のことですが、これほど楽しくて、感謝を実感できるものを私は他には知りません。皆さんと共に、その実感を共有できればと思います。ひとりでも多くの参加をお待ちしています。



*受講後の感想

私は受講前、禁煙についてほとんど興味がなく、実は、受講前非常に苦痛に感じていました。しかし、参加してみると今まで知らなかった喫煙による健康被害やリスク、禁煙することによる社会的利益などの知識を得ることが出来、私にとって有意義な研修となりました。そして、いろいろな病院の現状、各施設の禁煙への取り組みなどを話し合えて、参加されたみなさまと仲良くなれたことも楽しい思い出です。

みなさまも受講される機会があればどんどん参加してみてもはいかがでしょうか。

*受講後の職場での活動

禁煙支援についてパワーポイントを用いて当院看護師に対し、2度研修を行いました。参加してくれた方々からもいろいろご意見、ご感想をいただき“やってよかった。”と感じています。

現在、私は、精神科病棟で勤務しています。職場での活動としては、一日の生活をタバコに支配され、イライラ感から多飲水になっているニコチン依存の患者様に対して、禁煙指導を行っています。（今では、ほとんどタバコの要求もなくなり、多飲水傾向も改善されています。）

国保野上厚生総合病院 橋爪俊喜

禁煙支援リーダー養成研修(平成18年度)

受講者の声

独立行政法人 国立病院機構 和歌山病院 塩路好美

当院は呼吸器・循環器の専門施設であり、昨年6月より敷地内全面禁煙を導入しています。全面禁煙となれば喫煙中の患者さんや職員はニコチン依存症と真正面から向き合うこととなります。そのサポートを効果的にできるスキルを学ぶために、4人のスタッフが研修会に参加させて頂きました。研修では「受動喫煙の害」をはじめ「タバコを吸う権利？」云々。そして「禁煙支援の基本は楽しく・明るく」「意識改革には職員全員への働きかけが必要」等いくつかのキーワードを頂きました。研修後、今まで重荷に感じていた禁煙支援活動が“喫煙していない職員にむけてニコチン依存症や受動喫煙の害についてきちんとした情報をみんなに提供したい”という気持ちに変わることができました。また、看護師が中心に禁煙支援に取り組んだ結果、看護職員の喫煙率低下につながりました。私たち禁煙支援リーダーの役割は正しい情報提供であると考え試行錯誤しながら取り組んでいます。



★看護協会ホームページにたばこ対策事例集が掲載されています。★

保健師のコーナー



保健師職能委員 加藤 真弓

平成 18 年度より保健師職能委員を努めさせて頂いています。このようなお役を頂くのは初めてで戸惑いもありましたが、職場を超えて他の保健師の皆さん方と関わらせて頂く貴重な機会となっています。また、毎年、その時々的情勢や課題に合わせたテーマで活動しますので、自分にとっても日頃の保健業務に活かせる多くの学びがあり、有り難く思っています。

昨年度のテーマである「災害発生時の保健活動マニュアル」策定にあたっては、神戸市の「人と防災未来センター」視察研修や様々な関連文献の検索等を通し、私自身も災害発生時の対応方法について学ぶことができました。いざ災害が起こったとき、直後から冷静に判断し活動を開始するためには、日頃から災害時の自分を含めた組織の役割について認識を高めておき、知識や技術(できれば経験も)を向上しておくこと、地域の関係職種と連携しておくこと等の準備がいかに大切であるかを強く感じました。このマニュアルが多くの方々に有効活用して頂けることを願っています。

今年度は「医療制度改革における保健活動」がテーマとなっています。まだまだ学ばなければいけないことは多くありますが、興味を持って取り組んでいきたいと思っています。

助産師のコーナー

助産師職能委員 堂田 恵津子

みなさん、こんにちは。助産師の堂田恵津子です。

助産師職能委員会活動に参加させていただき 2 年目を迎えました。

昨年の職能委員会活動では、いろいろ勉強をさせて頂きありがとうございました。

助産師として病院での勤務を続けもうすぐ 20 年。

3 人の子供たちは、心身とも大きく育ちました。育児の大変な期間を支えてくれた両親は 70 歳前後と高齢ですが、まだまだ現役生活を楽しんでいます。

振り返ってみれば随分恵まれた環境にいた自分に気がつきました。

これからは、自分自身助産師としてどうあるべきか…少しずつ考えてみたいと思っています。

本年の助産師職能委員会活動は、院内助産・虐待・思春期指導をテーマにしています。社会的問題になっている「産科医不足」「施設の閉鎖」「お産難民」とどれをとっても助産師とは切り離すことの出来ない問題です。また、勤務体制や業務内容によっては、助産師の離職も問題になるのではと感じています。

施設勤務の経験しかない私ですが、助産師の質の向上をはかり、安全・安心・満足なお産の確保にむけた助産体制が確保できるよう頑張っていきたいと思っています。

看護師のコーナー

看護師職能委員 板坂 茂子

H19 年度看護師職能委員会は、峰平委員長はじめ、5 名の新委員を迎え始めました。私自身、昨年からは看護師職能委員として活動させて頂いています。初めのうち、職能委員の活動が何をするのか知らず委員になり、この 1 年、他の委員の方々に引っ張ってもらいながら、やってきました。委員会で他の施設の方々と会議や活動を通じ、意見交換をすることで自分の経験や学びになっています。

本年度、「県看護協会、三職能委員会、地区支部会員と有効な連携を図る」という事で活動していますが、その一環として 9 月 8 日プラザホープにおいて、三職能合同で研修会を開催しました。昨年、医療制度改革によって診療報酬の入院基本料 7 対 1 が新設され急性期看護の大変さが評価されました。1 年が過ぎ「現状はどのように変わってきたのか」ということで、実際に 7 対 1 を取っている施設の方々の生の話を聞き現状を知ることができたと思います。また、今後の参考になったのではと思っています。今後も三職能連携し活動できればと思っています。また、「地区支部会員と有効な連携を図る」ということで、今年度は少しでも行事や委員会に参加させていただきながらお互いに連携できればと思っています。本年度今後の活動とし、「子育て支援」対策で実態調査を行う予定です。その他、協会会員数増加にむけ、職能委員会でどのようにアピールしていこうかと、ホームページの活用方法を検討中です。会員の方でもまわりに非会員の方がいましたら、声かけをおねがいします。

残りの期間、職能委員の活動をがんばっていききたいと思っています。

看護協会委員会のコーナー

業務委員会活動について

業務委員長 中 萩 規 子

「業務委員って何をするの？」日頃看護協会の活動や総会に無関心で知らんぷりを決め込んでいた私は、業務委員会の連絡が届いた時正直「ええっ、嫌だなあ、どうしよう」という気持ちでした。参加して初めて業務委員会は5名で構成されており、任期は2年であり、最長6年まで就任することができるということを協会の皆様はご存知でしたか？

さて業務委員の活動は、昨年は医療安全管理者養成研修会の開催と一昨年の研修会受講者へのアンケート調査の実施でした。今年度は研修会の開催と一昨年、昨年の研修会受講者のためのフォローアップ研修と交流会を開催する予定です。

フォローアップ研修と交流会は今回初めての取り組みであり、ちゃんと形になるのか？不安ですが、谷会長のご指導のもと委員一同力をあわせて頑張りたいと思っておりますので、ご協力よろしくをお願いいたします。



~~~~ 東洋羽毛のサービス ~~~~

- | | | |
|--------|------|--|
| リフォーム | ………… | 古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地に詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングル4枚などに、作り替える事も出来ます。 |
| 補修・お直し | ………… | 穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。 |
| クリーニング | ………… | 大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。 |
| 特別注文 | ………… | 製造メーカーなので、ご希望のサイズの、お布団を作れます |



※お布団の事なら、何でもご相談下さい。



ホームページアドレス
<http://www.toyoumo.co.jp>

社団法人 和歌山県看護協会 推薦

東洋羽毛工業(株)大阪営業所

和歌山店 〒6408329和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
フリーダイヤル 0120-32-7766

※ 阪和営業所から和歌山店に変更になりました

大阪店 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-8-13
フリーダイヤル 0120-88-2104

リレーエッセイ ★ 友達の輪 ★

NO.22

「アロマ」 向陽病院 井岡 由起子



昨今は癒しブーム。中でもアロマは色々な場面に使われているようです。私も毎日の入浴に好きな香りを2, 3滴たらし手軽に楽しんでいます。香り刺激は大脳辺縁系に直接入るのでリラックス効果が高く又、情報処理センターが眼窩の奥にあり前頭葉を活性化させる力があり、気力の充実に深く関わるとか。香りを生活に上手く取り入れ楽しみリフレッシュし、明日のへの気力につながればと、今日はアロマではなくお香をたのしんでいます。

(次回は、橋本市民病院 駒井郁子さんです)

私の○○

★私の健康法★

橋本市民病院 中澤 真美



私の健康法は時間を見つけてマラソンをすることです。きっかけは中学時代に陸上部に在籍していたことです。高校、看護学生時代とプライベートでロードワークする習慣が出来ました。中距離走が長距離走に変化していき、徐々に10 km、20kmとのびていきました。仕事が始まり、毎日の勤務が不規則の中で、あいている時間を利用して、ロードワークしています。今では2人の子供もあり、空き時間が少なくなりましたが、自宅周辺を走ったり、スポーツジムに行き、ルームランナーを利用し、ランニングを行ったりとほぼ毎日運動しています。時間帯によって違いますが、高齢の方でも走ったり、歩いたり運動されている方にあいます。日々みな平等に年をとっていくなかで、運動を行うことにより、筋力低下を防止し、衰えを防ぐように個人の努力が必要と思います。これからも時間の許すかぎり、続けていきたいと思っています。

My Hospital

医療法人 了生会 古梅記念病院



H19.7.17にイズミヤとなり旧済生会病院跡地に古梅記念病院新病院が設立されました。

病床数 110床を要し、1F 外来・リハビリ 2F OP室 3, 4, 5Fが病棟です。5Fは全個室で、ホテルも顔まけの特別室があります。スタッフ間でも一度は泊まってみたいという声もチラホラ・・・

24時間体制の託児所も院内設置され、働くお母さんを応援しています。OP室もクリーンルーム2室とし万全のOP体制をとっています。



脊椎外来・乳腺外来も、新病院と同時に新設され、医師を募って遠方からの患者様も増えていきます。スタッフ間の雰囲気もアットホームでとても働きやすい職場です。

今後、地域の皆様に愛され、満足していただける病院を目指し、和歌山に古梅記念病院ありといわれるくらいの大きな目標に向かって頑張っていきたいと思っています。



和歌山県看護協会の動き

運営に関する会議

平成19年度 第4回 理事会

開催日時 平成19年8月7日(火) 13:30～17:00

内容

1. 報告事項

1) 平成19年度第2回法人会報告

①日本看護協会長より

- ・新潟県中越沖地震について、支援へのお礼とICN・CNR 学術大会への協力のお礼とこれからの看護協会の動きについて述べられた。

②平成20年度日本看護協会通常総会

開催地 埼玉県 さいたまスーパーアリーナ

開催期間 平成20年5月20日～22日

③次の事項について協議

- ・生活習慣病予防、特定健診・指導に関する事業受託について
- ・看護職員確保定着促進事業について
- ・ナースセンター事業のあり方について
地区別法人会会場で継続して協議することになった。
- ・各都道府県看護協会運営上の課題についてブロック毎に分かれ協議した。

2) 日本看護協会職能委員長会報告

各職能委員長より職能委員長会活動報告する。

3) 地区別施設代表者開催の予定について

8月9日から各地区で開催

4) 和歌山県ナース章の推薦について

常務理事会で推薦者を決定したことを報告

2. 協議事項

1) 看護研修センターの建設について

各地区毎に会員の意向について報告されている内容を確認

- ・把握できていない地区もあり、地区別施設会員代表者会議で聞くことにする。

- ・施設会員代表者から各会員まで情報が伝わっていない。会員に周知するよう再度説明が必要

- ・資金計画を具体的にし、金額を明確にする。

- ・会員に対してQ&Aを建設委員会で検討してもらう。それでもって会員対象にアンケート調査をすることも必要

- ・時期を明確にすることも必要

- ・新研修センターは主として研修会場として検討。職能集会は他施設を借用しても良いのではないかと。

- ・看護管理者教育課程セカンドレベルの開講は他の空いている施設を借用して申請してはどうか。

- ・看護管理者教育セカンドレベルの開講について、待ってはられない。平成20年度開講予定で申請する。

- ・理事として建設するというスタンスであるが、施設長の姿勢が大きく影響する。

研修センター建設に対して多くの意見がだされたが、地区別施設会員代表者会議の結果を踏まえて、看護研修センター建設推進委員会で検討する。

3. その他

定款の変更に伴い細則を変更する。

会員の皆さまへのお知らせ

- 第38回日本看護学会「看護管理」開催
会員の皆さまのご協力を得て開催します。

開催場所：和歌山県民文化会館

アバローム紀の国

開催日時：平成19年10月25日(木)・26日(金)

2日間

参加定員：2,200人

- 和歌山県看護研究学会のご案内

開催日時 平成20年3月8日(土) 受付 9:10

開催場所 和歌山県民文化会館

参加費 会費 3,000円 非会員 4,000円

メインテーマ：「気づき、発見、わたしと看護」

特別講演：テーマ「やる気のでる看護研究」

講師 尾崎 フサ子 先生

新潟大学医学部保健学科教授

日本看護協会学会委員

教育講演：テーマ「全てはベッドサイドにある…」

講師 北村 愛子 先生

りんくう総合医療センター

クリティカルケア看護専門看護師

- 平成20年度次の役員・委員が改選されます。

1. 役員

- ・会長

- ・第二副会長

- ・職能理事1人

①保健師職能理事

- ・地区理事

①伊都地区理事

②那賀地区理事

③有田地区理事

④日高地区理事

⑤田辺地区理事

- ・全区理事

- ・監事1人

2. 職能委員

- ・保健師職能委員 3人

- ・助産師職能委員 3人

- ・看護師職能委員 4人(うち1人は准看護師)

3. 推薦委員 3人

4. 日本看護協会総会代議員

平成21年度日本看護協会総会代議員の推薦

については、各地区支部長にお願いします。

立候補・推薦についてのお問い合わせは、看護協会事務局までお願いします。

和歌山県看護協会推薦委員会